



OPROARTS Connector  
for kintone  
ユーザーガイド  
(Excel ブラウザマッピング  
/ヘッダー明細)

Ver.1.3

## 改訂履歴

---

Ver.	改訂日	改訂内容
1.0	2019/06/20	新規作成
1.1	2020/12/24	「3.2 テンプレートの新規作成」の注意点を追記
1.2	2021/09/17	「本書の使い方」に、Office アドインを使用した Excel 帳票出力設定を推奨する注釈を追記
1.3	2022/08/04	「6.出力ボタンの作成」に Excel / Word 出力の場合、ボタン設置場所は詳細ページのみであることを記載

本書に記載されている会社名、製品名、サービス名などは、提供各社の商標、登録商標、商品名です。  
なお、本文中に TM マーク、©マークは明記していません。

## 本書の使い方

本資料では、簡単な帳票見本を作成する中で、OPROARTS Connector for kintone をご利用するにあたって最低限必要な基本操作手順を理解することを目的としています。

各画面のボタンやコンポーネントの詳細などについては製品ヘルプをご参照ください。

※本マニュアルには、事情により Office アドインが使用できない場合の Excel 帳票出力設定方法を記載しております。  
Office アドインが使用できる場合は、マニュアル「OPROARTS Connector for kintone ユーザーガイド（Excel/Word Office アドイン/ヘッダー明細）」にて Excel 帳票出力設定方法をご確認ください。

## 本書の表記

本書では、以下の表記で記載しています。

表記方法	内容
<b>注意</b>	操作上の注意事項について記載しています。
<b>Point</b>	操作上で知っている便利なポイントについて記載しています。
<b>参照</b>	本書における参照先を記載しています。
[ ]	ボタン名やタブ名、キーボードのキーなどの表記で使用します。
「 」	システム名、メニュー名、画面名、項目名、参照先などの表記で使用します。

# 目次

---

1. はじめに.....	5
2. 全体の流れ.....	6
3. テンプレートのデザイン.....	7
3.1 デザインの作成.....	9
3.2 テンプレートの新規作成.....	10
3.3 基本操作の紹介.....	11
3.4 実際に作る.....	13
4. 項目のマッピング.....	17
5. ドキュメント出力設定.....	21
6. 出力ボタンの作成.....	24
7. OPROARTS Connector のアンインストール.....	27

# 1. はじめに

ここでは Connector for kintone で出力する帳票を作成するにあたって重要となる「ヘッダー明細型」の概念について説明します。

ヘッダー(またはフッター)と明細のある帳票を 2 つのグループに分けて考えます。ヘッダーやフッター部分を「非明細部」と呼びます。それ以外の部分を「明細部」と呼びます。この非明細部と明細部に分けることのできる帳票を、「ヘッダー明細型」と定義しています。

商品コード	商品名	単価	数量	金額
00001	商品1	100,000	1	100,000
00002	商品2	100,000	1	100,000
00003	商品3	100,000	1	100,000
00004	商品4	100,000	1	100,000
00005	商品5	100,000	1	100,000
			合計	500,000
			消費税	40,000
			総合計	540,000

## ・非明細部

取引先や住所などのように、帳票上に一度しか表示されない項目が集まる領域。  
ヘッダーやフッター

## ・明細部

商品名などといった、帳票によって行数が変わる領域。  
「繰り返し領域」ともいう。

kintone のアプリデータからこのヘッダー明細型帳票を作る場合、

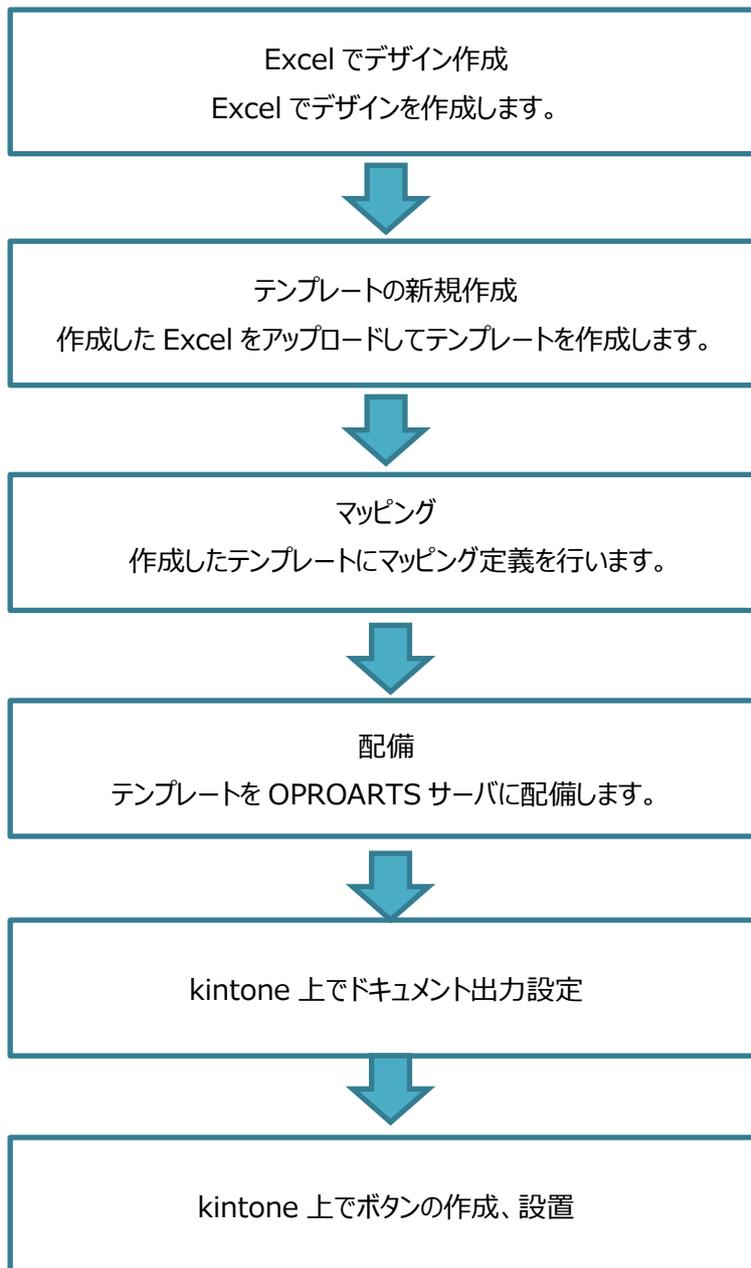
非明細部: 起点となるアプリのレコード(単一レコード)項目

明細部: 起点となるアプリのテーブルレコード(複数レコード)項目

を用いてそれぞれの部分を埋めることになります。

## 2. 全体の流れ

OPROARTS Connector では、以下のような流れで帳票出力が可能になります。



# 3. テンプレートのデザイン

出力したい帳票の見た目を OPROARTS Live でデザインします。

本ユーザーガイドでは、以下のような帳票を出力するためのテンプレートを作成します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	
1										
2		サンプル帳票						2019-06-18		
3							①			
4		サンプル取引先		②						
5										
6		商品名								
7		製品1								③
8		製品2								
9		製品3								
10		製品4								
11		製品5								
12										
13		備考								
14		サンプルテキスト								
15							④			
16										
17										
18										
19										
20										
21										

番号	内容
①	見積アプリの発行日項目
②	見積アプリの顧客名項目
③	見積アプリのテーブルの内容項目
④	見積アプリの備考項目

番号を振っていない部分の文言は固定文言です。

任意の文言を配置、もしくは何も配置しなくても問題ありません。

※「見積アプリ」については[こちらの FAQ ページ](#)から「簡易見積アプリ」のテンプレートファイルをダウンロードし、そのファイルを読み込んでアプリを作成してください。

※本テンプレートは帳票テンプレートの構造を理解するため、敢えて非常にシンプルな構成にしています。  
Excel での帳票デザインの詳細はこちらをご参照ください。

[https://s.oproarts.com/help/contents/ja/designer.html#designer\\_livexlsff](https://s.oproarts.com/help/contents/ja/designer.html#designer_livexlsff)

## 3.1 デザインの作成

デザインはすべて Excel 上で行います。書式設定や数式、マクロなどをそのまま引き継ぐことができます。ここでは、以下のように Excel シートを作成します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2		<b>サンプル帳票</b>						(日付)	
3									
4		(取引先名)							
5									
6		<b>商品名</b>							
7		(商品名)							
8									
9		<b>備考</b>							
10		(備考)							
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									

デザインを作成する際の注意点は以下です。

- ・ アップロードできるセル数は 2500 セルまでですので、セルはできるだけ結合してください。
- ・ デザインに表示される領域は、Excel 上で[Ctrl]+[End]キーを押下した時に選択されるセルと A1 セルの間の範囲になります。この範囲に不要なセル（空欄の行や列）がある場合はできるだけ取り除いてください。
- ・ 数式があるセルにマッピングしても、出力時は数式が保持されます。

その他の制限事項については、以下のヘルプのセクション

- ・ Live, Document Designer for Office 全てに対する制限
- ・ Live Excel の制限(Live for Salesforce, Live Excel) ※Office アドインではなく、ブラウザマッピング版に記載しております。

[Excel/Word/PowerPoint 帳票に関する動作要件と制限事項](#)

## 3.2 テンプレートの新規作成

OPROARTS Designer にログインし、左上の[新規作成]をクリックします。

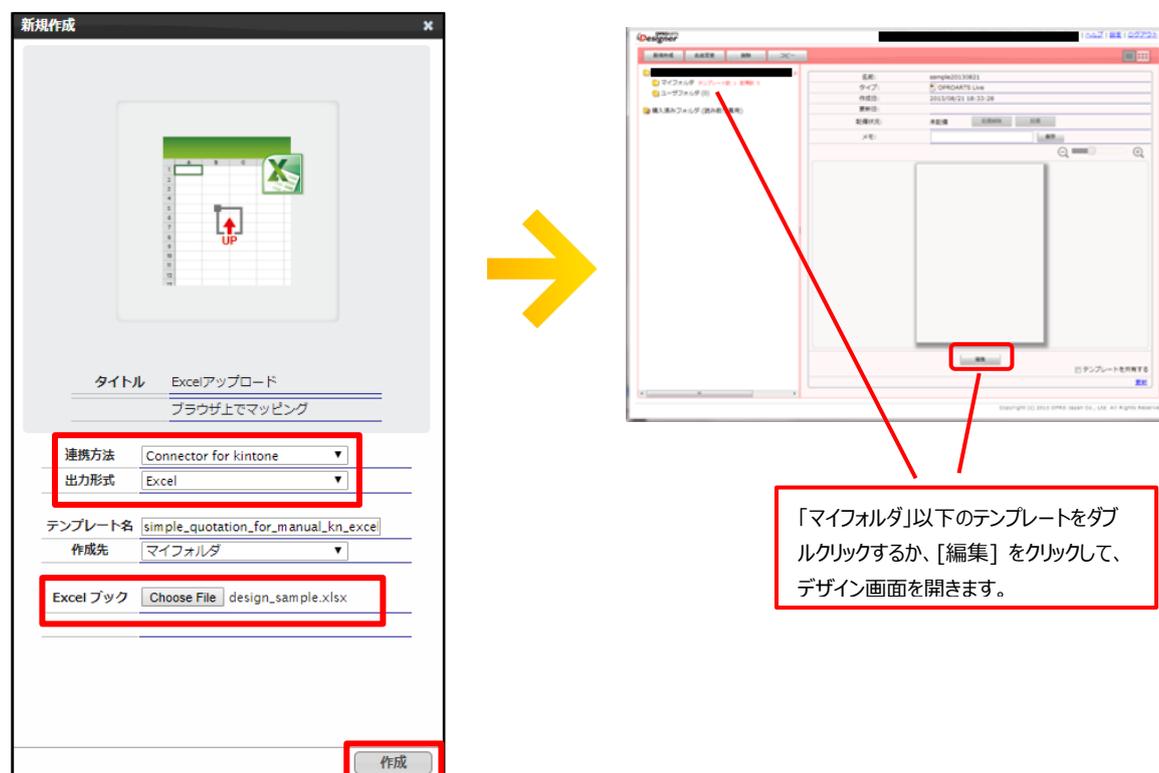


ここでは、[Excel] タブで「Excel アップロード」を選択します。  
連携方法「Connector for kintone」、出力形式「Excel」を選択してください。

以下のルールに従って任意のテンプレート名を入力してください。

- ・使用できる文字は、英数字とアンダーバー
- ・先頭の文字はアルファベットである
- ・最後の文字がアンダースコアでない
- ・アンダーバーが 2 個以上連続していない

Excel ブックに作成したデザインを選択し、[作成] をクリックします。



※デザイナー上では、Excel の編集を行うことはできません。デザインが完了している Excel をアップロードしてください。

※Excel をアップロード後、シート名を変更することができません。ご注意ください。

### 3.3 基本操作の紹介

使用する Excel のセル座標に対して、データの挿入を行う仕組みとなっています。そのため、セルの書式設定、関数、マクロ、図形、グラフ、画像がお使いいただけます。グラフや図形など、デザイン上には表示されないコンポーネントがありますが、出力時には表示されます。

データマッピングを行うセルを指定するため

1. レイアウトのセルをクリックして選択し、
2. 画面左の[内容][タイプ]の「動的」を選択します。  
静的 …… 固定の文言を表示します。  
動的 …… Kintone のデータを表示します。



また、作成したテンプレートの編集画面でレイアウトをクリックした時に設定できる機能は以下です。

名称	機能
非表示行を処理しない	チェックをいれた場合、非表示行は削除される。
明細の出力行がない場合そのままにする	チェックをいれた場合、明細が一つもない時でも空の明細行を表示する。
条件付き書式を明細に合わせ調整する	チェックをいれた場合、Excel に設定されている条件付き書式を明細すべてに適用する。
データが空の場合はセルを空で上書く	チェックをいれた場合、データが空の時にはセルを空にする。
メタデータ	選択した属性を動的に変更することができる

セルをクリックした時に設定できる機能は以下です。

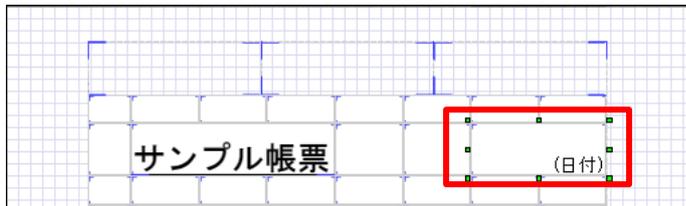
名称	機能
タイプ	「動的」を選択すると、外部データを表示します。
この行をバンドとする	選択されているセルを含む行を明細行とします。
この行をグループヘッダとする	選択したセルを含む範囲をグループヘッダ・フッタとして指定します。 この設定を行うと、マッピング画面でグループキーとなる項目を指定することができ、グループキーの切り替わるタイミングでヘッダ・フッタが表示されます。 バンドの上方をグループヘッダ、下方をグループフッタとして自動的に設定します。
この行をグループフッタとする	同上
グループフッタで改ページ	「この行をグループフッタとする」の設定がされている時のみ指定できます。この設定を行うと、グループフッタが切り替わるタイミングで「改ページの挿入」設定がされます。
高さの自動調整	「折り返して全体を表示する」設定を行います。1 行の文字数を指定する必要があり、等幅フォントのみ対応しています。
書き込みのデータ型	指定したデータ型で Excel に挿入します。セルの書式設定の変更はいたしません。
コンポーネントグループ	マッピング画面のコンポーネントグループの命名を行います。基本的には自動的に設定されます。

## 3.4 実際に作る

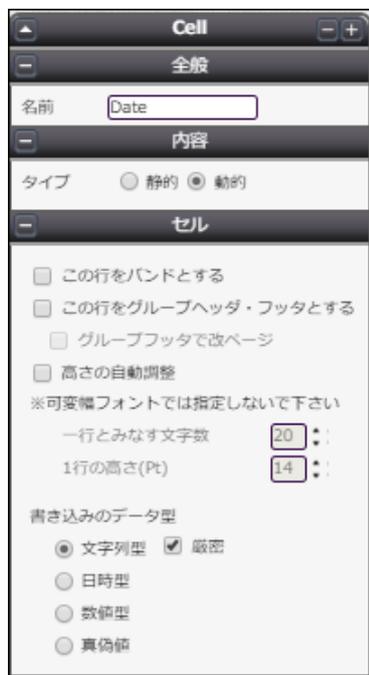
ここでは、実際にデータマッピングを行うセルの指定をします。

### 1. 日付

帳票を出力した日付を表示したいセルをクリックします。



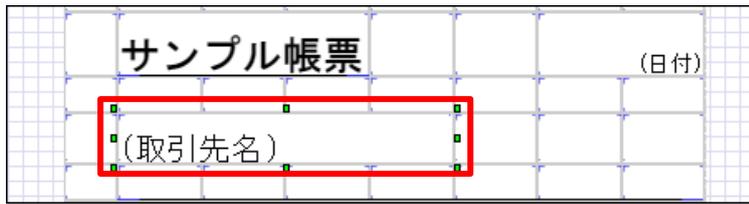
以下のようにプロパティを設定します。



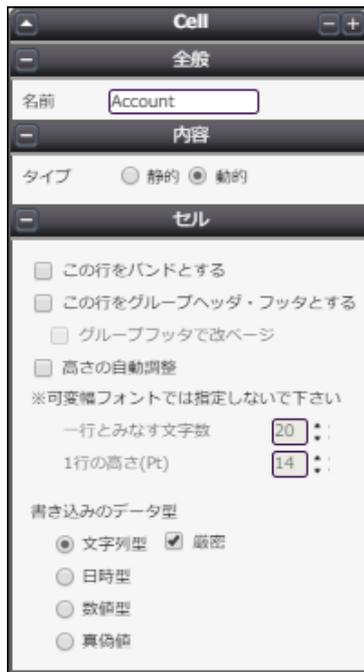
- 名前 : Date
- タイプ : 動的
- 書き込みのデータ型 : 文字型(厳密にチェック)

## 2. 取引先名

取引先名を表示したいセルをクリックします。



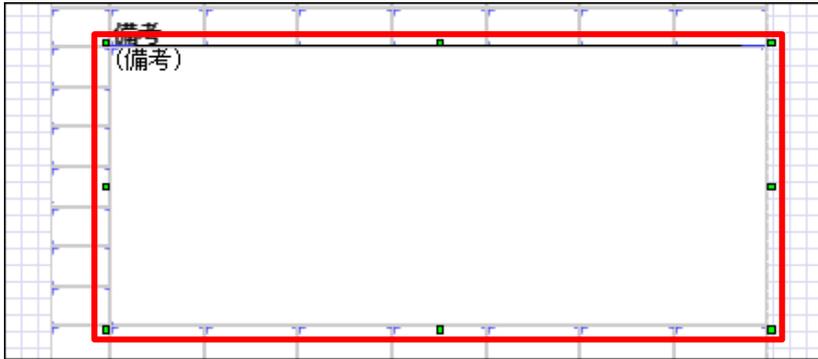
以下のようにプロパティを設定します。



- 名前 : Account
- タイプ : 動的
- 書き込みのデータ型 : 文字型(厳密にチェック)

### 3. 備考

備考を表示したいセルをクリックします。



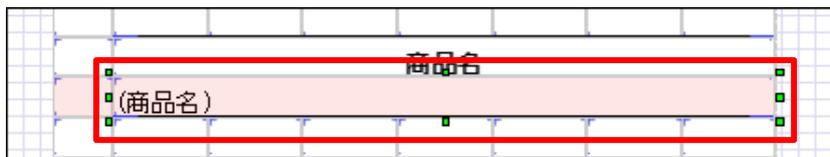
以下のようにプロパティを設定します。



- 名前 : Remarks
- タイプ : 動的
- 書き込みのデータ型 : 文字型(厳密にチェック)

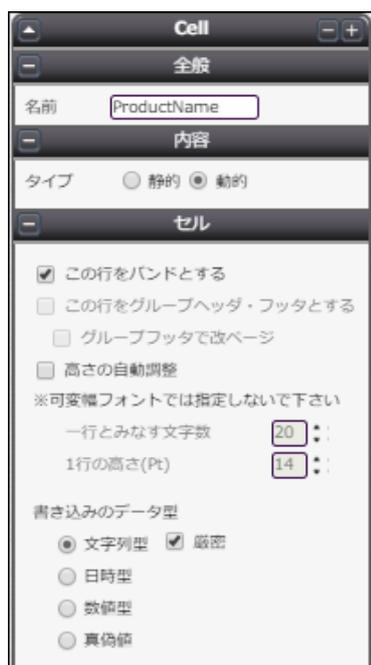
#### 4. 商品名

商品名を表示したいセルをクリックします。



以下のようにプロパティを設定します。

この行は明細行となるので、「この行をバンドにする」にチェックを入れます。



- 名前 : ProductName
- タイプ : 動的
- この行をバンドとする : チェックを入れる
- 書き込みのデータ型 : 文字型(厳密にチェック)

以上の設定が終わったら、保存ボタン(📄)をクリックして、矢印ボタン(➡)でマッピングへ進みます。

## 4. 項目のマッピング

デザインしたテンプレートに CSV データ項目をマッピングします。

1. 画面左上の「コンポーネントグループ」内、「ページ」と「repeatable1」の両方について、CSV 定義を追加します。



「ページ」にチェックを入れ、[CSV 定義を追加]をクリックします。



「repeatable1」についても同様にします。



2. それぞれのコンポーネントグループについて、CSVデータのフィールドを決定します。  
[フィールドを定義]をクリックし、[追加]ボタンでフィールドを追加します。

ページ

**1. ページ 向け CSV**

**フィールドを定義**    マッピング

↑   ↓   削除

---

**CSV 定義**

区切り記号付き     固定長

フィールド区切り記号  ▼

文字列の引用符  ▼

先頭行を無視する

データ出力条件

フィールド名	データタイプ	形式
Date	text	
AccountName	text	
Remarks	text	

←   追加   削除   上へ   下へ   形式の読み込み...   サンプルCSV

repeatable1

**2. repeatable1 向け CSV**

**フィールドを定義**    マッピング

↑   ↓   削除

---

**CSV 定義**

区切り記号付き     固定長

フィールド区切り記号  ▼

文字列の引用符  ▼

先頭行を無視する

データ出力条件

フィールド名	データタイプ	形式
ProductName	text	

←   追加   削除   上へ   下へ   形式の読み込み...   サンプルCSV

3. フィールドを追加したら[マッピング]をクリックし、それぞれのフィールドについてテンプレートのどの動的項目と対応するかを決定します。

設定したいフィールドの行をクリックして、画面左側の「CSV フィールド」から対応させたい項目を「データ」欄にドラッグ&ドロップします。

ページ

**1. ページ 向け CSV**

フィールドを定義 **マッピング**

↑ ↓ 削除

コンポーネント	コンポーネントグループ	タイプ	データ
Date	ページ	Cell	Date
Account	ページ	Cell	AccountName
Remarks	ページ	Cell	Remarks

repeatable1

**2. repeatable1 向け CSV**

フィールドを定義 **マッピング**

↑ ↓ 削除

コンポーネント	コンポーネントグループ	タイプ	データ
ProductName	repeatable1	Cell	ProductName

4. マッピングが終わったら、[保存]をクリックします。

CSV定義

1. ページ 向け CSV

フィールドを定義 マッピング

↑ ↓ 削除

2. repeatable1 向け CSV

フィールドを定義 マッピング

↑ ↓ 削除

リセット 保存

5. テンプレート配備ウィザードにて[配備]をクリックしてテンプレートを帳票出力に使用できる状態にします。

テンプレート配備ウィザード

テンプレートの配備

テンプレートは保存されましたが、帳票出力にはまだ反映されません。反映するには「配備」ボタンをクリックしてください。  
配備ボタンのクリックで、「CID(弊社より発行されたOPROARTSの認証情報)」配下に [ ] テンプレートをコピーします。  
配備することによって、下記のフォーム、ボタンから出力できるようになります。

ドキュメント生成フォーム

配備

※テンプレートの編集をした際も、必ず[配備]をクリックしてください。配備をしないと変更点が帳票出力に反映されません。

# 5. ドキュメント出力設定

Live テンプレートに連携する CSV データと kintone アプリの項目の対応関係を指定します。

## 1. kintone のボタン設定を行います。

OPROARTS Connector for kintone アプリにアクセスし、LAD レコードを開き、[デザイナーと同期]ボタンをクリックしてから[追加]ボタンをクリックします。

アプリ設定  
kintoneアプリ毎にドキュメント出力設定を行う場合は、設定を開始する

有効	アプリID	ボタン名	確認メッセージ	テンプレート	操作指示
1	Yes	4	ドキュメント出力処理を行います。	demo0620	PDF
2	Yes	4	ドキュメント出力処理を行います。	Excel0620.xism	XLS

## 2. 出力を行うアプリIDを入力し、ボタン名、確認メッセージ、操作指示、テンプレートを指定します。

アプリIDの指定  
ドキュメント出力を行うアプリのIDを入力してください:

追加

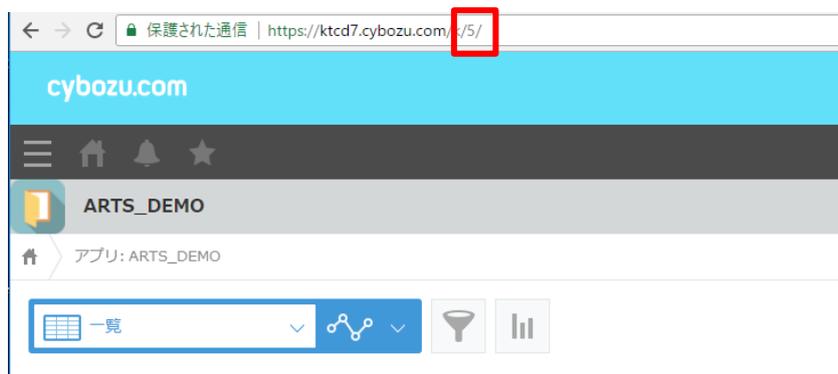
有効	アプリID	ボタン名	確認メッセージ	テンプレート	操作指示
1	Yes	5	ドキュメント出力処理を行います。	simple_quotation_for_manual	PDF
2	<input checked="" type="checkbox"/>	5	ドキュメント出力処理を行います。よろし	simple_quotation_for_ma	XLS

※使用したいテンプレートが選択リストに表示されない場合、下記をご確認ください。

- 「デザイナーと同期」を行っていない
- テンプレートの配備を行っていない

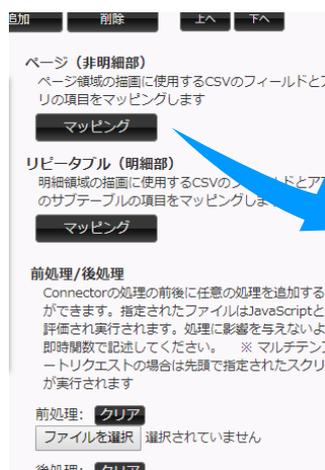
※アプリ ID は使用するアプリの URL の末尾に記載されています

この場合アプリ ID は「 5 」になります



3. テンプレートが間違いないことを確認し、非明細部のマッピングボタンをクリックします。CSV フィールドに対しアプリフィールドの何を結びつけるかという指定を行います。

※アプリフィールドにはアプリのフィールドコードが表示されています。



4. 明細部のマッピングも同様に、CSV フィールドとアプリフィールドの結びつけをおこないます。  
明細部にはサブテーブルとして、「作成した任意のテーブル」が[関連レコード]を選ぶことができます。

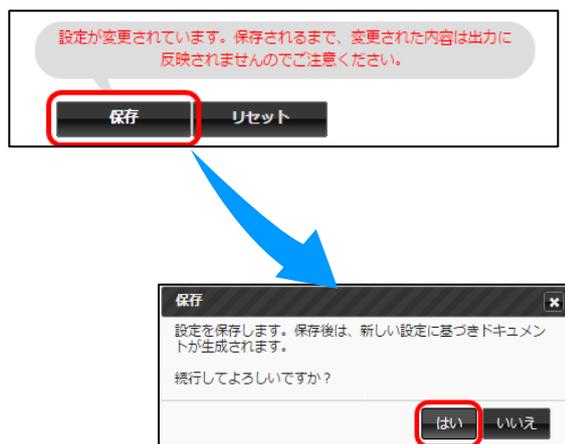
リピータブル (明細部)

サブテーブル Table  関連レコードを使う 設定

CSV Field	App Field
ProductName	Contents

自動マッピング

5. 指定が完了したら、保存ボタンをクリックします。



## 6. 出力ボタンの作成

kintone のレコード画面から帳票を出力するボタンを作成します。

kintone のレコード画面から Connector for kintone で帳票出力をするためには、出力をリクエストするボタンを kintone 上に作成する必要があります。

### 1. まず、プラグインの設定をします。

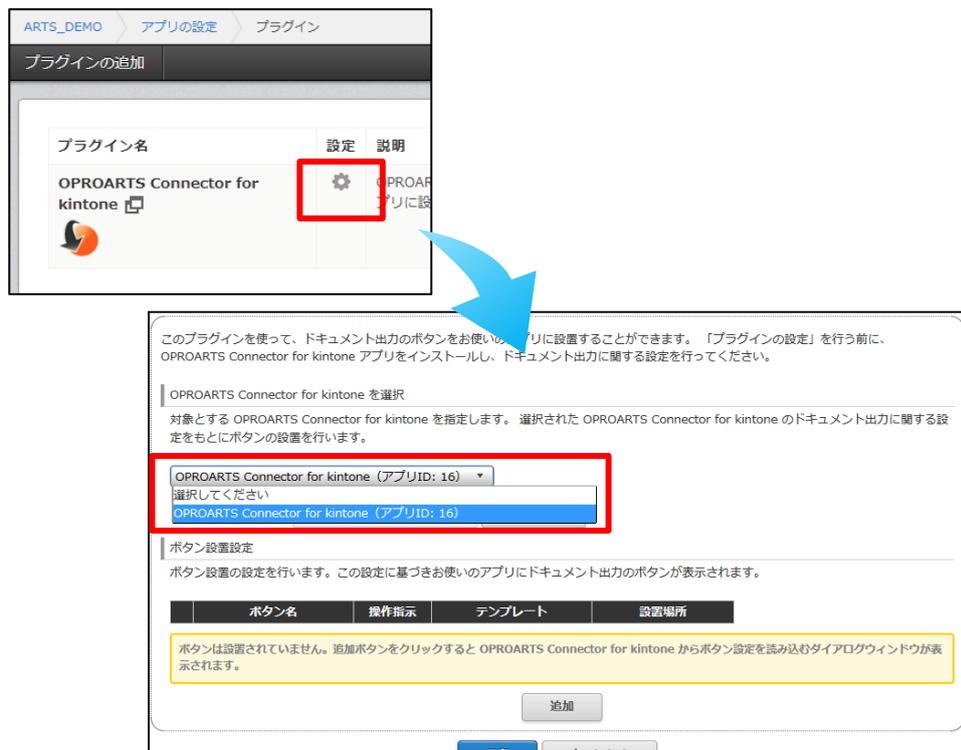
ボタンを設置したいアプリの設定画面を開き、[設定]からプラグインを選択します。



### 2. [プラグインを追加]をクリックすると、OPROARTS Connector for kintone のプラグインが表示されます。チェックボックスにチェックをいれて、[追加]をします。



3. 次に[設定]をクリックし、「OPROARTS Connector for kintone を選択」から、対象とする OPROARTS Connector for kintone アプリ を指定します。

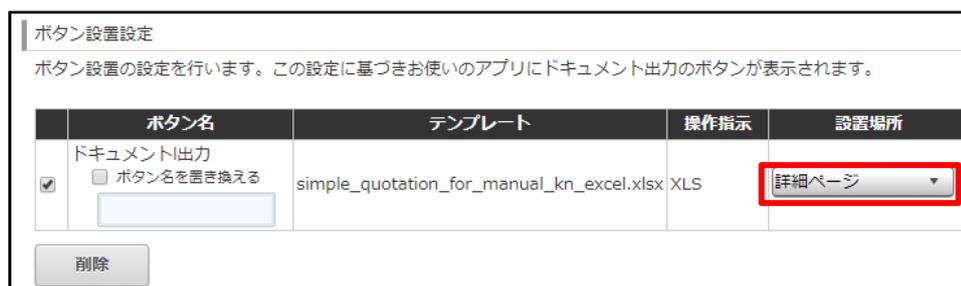


4. [追加]をクリックすると、ボタン設定を読み込むダイアログが表示されます。設定するボタンを選んで、[追加]します。



5. [ボタン設置設定]にボタン設定が読み込まれました。Excel / Word 出力の場合、設置できる場所は詳細ページのみです。

※複数の帳票のボタンを設置する場合は 8、9 の手順を繰り返してボタンを増やします。



6. 指定が完了したら、保存ボタンをクリックします。  
次に「アプリの設定」から「アプリを更新」をクリックし、アプリの設定を完了します。



7. 保存が完了したら、作成したアプリの詳細ページにボタンが表示されます。  
クリックすると、表示されているレコードの情報を使用し、指定したレイアウトの帳票が出力されます。



	A	B	C	D	E	F	G	H	I	
1										
2		サンプル帳票						2019-06-18		
3										
4		サンプル取引先								
5										
6		商品名								
7		製品1								
8		製品2								
9		製品3								
10		製品4								
11		製品5								
12										
13		備考								
14		サンプルテキスト								
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										

# 7. OPROARTS Connector のアンインストール

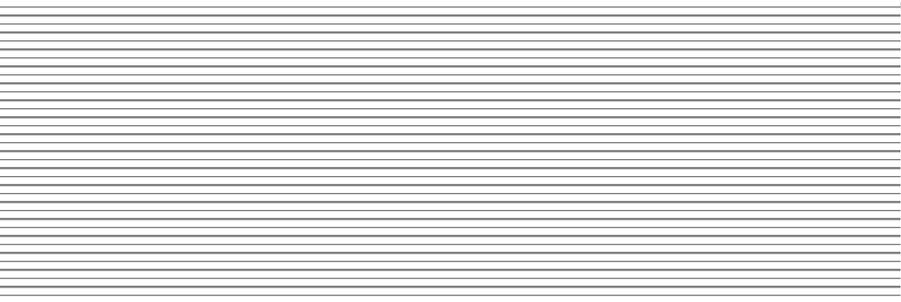
OPROARTS Connector のアンインストール方法を説明します。

1. ホーム>設定(⚙️)> [アプリ管理]をクリックします。



2. アプリ管理画面で削除ボタン(🗑️)をクリックして、出てきたポップアップ画面で[削除]をクリックします。

ID	アプリ名	設定	アプリグループ	ステータス	レコード数	フィールド数	1日のAPIリクエスト数	カスタマイズ	最終更新者	最終更新日時	
6	見積	⚙️	Public	運用中	1	6	0	あり		2019-04-24 17:59	🗑️
4	ViewFramer Connector for kintone-20161024	⚙️	Public	運用中	1	6	0	あり		2019-04-24 13:11	🗑️
7	見積商品	⚙️	Public	運用中	10	5	0	なし		2019-04-24 11:29	🗑️
5	ARTS_DEMO	⚙️	Public	運用中	0	12	0	なし		2019-04-24 10:38	🗑️
2	OPROARTS Connector for kintone	⚙️	Public	運用中	0	9	0	あり		2019-04-24 10:32	🗑️



OPROARTS Connector  
for kintone  
ユーザーガイド  
(Excel ブラウザマッピング  
/ヘッダー明細)

